

沿線の市街地整備

Urbanization along the Linimo line

平成30年度を目標に策定した第5次総合計画では、主要施策のひとつに「リニモでにぎわい交流するまち」を掲げており、長久手古戦場駅と公園西駅周辺で新しい市街地の形成を進めています。



長久手古戦場公園(左奥)と長久手中央2号公園(右手前)とイオンモール長久手(右奥)

1 長久手中央土地区画整理事業

この地区は、市の中央にあつて、長久手古戦場駅を中心としたエリアに位置し、東西に県道力石名古屋線が、南北に県道瀬戸大府東海線が交差しています。名鉄バスやNーバス、日進市のコミュニティバスも乗り入れるなど交通の結節点として、交通の便が非常に良い立地となっています。

また、第5次総合計画において、都市核「シンボル・コア」として位置付けられており、長久手市の新たな顔としてのまちづくりが期待されています。

駅の北側には、12月9日にイオンモール長久手がオープンします。長久手市の新たな中心市街地にふさわしいにぎわいを生み出すことを期待されています。



【左】イオンモール長久手で行われた植樹祭の様子。大村知事、市長のほか、多くの市民のみなさんが参加されました。(平成28年10月30日撮影)

【下】長久手古戦場駅の周辺イメージ図

